



人権平和資料館だより

2013. 6

# HUMAN RIGHTS & PEACE 第 214 号

人権と平和は  
21世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内 1-1-1

TEL 924-6789 FAX 924-6850

[jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp)

## 広河隆一 パレスチナ写真展

### 『憎しみの連鎖を断ち切るために』

5月30日(木)～7月31日(水)

Part I 《5月30日～6月30日》

「パレスチナの抵抗と自治区の封鎖」

- ・光と影のエルサレム
- ・パレスチナ人の抵抗
- ・自治区封鎖…ジェニン大破壊

Part II 《7月3日～7月31日》

「占領地の拡大と難民キャンプ」

- ・難民キャンプの子どもたち
- ・占領地の拡大
- ・ガザ攻撃

2012年11月29日、国連総会本会議においてパレスチナを「オブザーバー国家」(投票権はないが、発言したり提案することはできる。)にする決議案が、日本やヨーロッパ諸国を含む138カ国(国連加盟は193カ国)の圧倒的な賛成で採択されました。

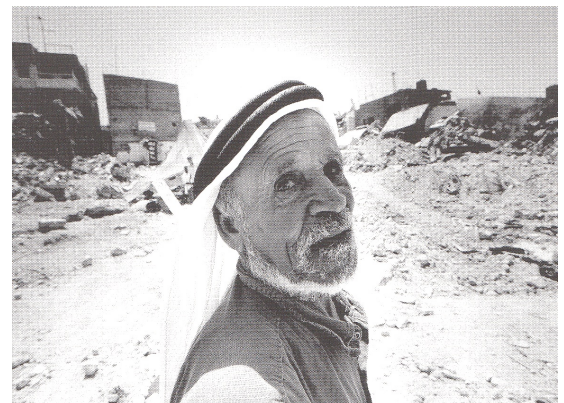
パレスチナと呼ばれる地域は、三大陸の結節点に位置することから、その帰属をめぐる、歴史的にもさまざまな民族間で紛争を繰り返してきました。特に、1948年のイスラエル建国後は、反発するアラブ諸国との間で、第一次から第四次にわたって戦火を交え、「スエズ戦争」・「石油危機」など、中東情勢に不安定な要因を作り出してきました。

最近では、パレスチナ武装勢力を巻き込んで、イスラエル軍による軍事行動と報復攻撃が繰り返され、お互いの住民に憎しみを増幅させています。

今回の国連による「オブザーバー国家」の決議は、近い将来、パレスチナを正式な国家として承認するという国際世論の意思表示と言えます。

いま国際世論がイスラエルとパレスチナ勢力に強く求めていることは、暴力と憎しみの連鎖を増幅させるのではなく、お互いが助け合い、平和的に共存する関係を築いていくことです。

この写真展が、パレスチナ問題の理解と平和に向けた機運を高めることを願っています。



オマル・アルフセインさんは1948年に難民になり、ジェニン難民キャンプに住むが、2002年4月にイスラエルの攻撃で、家屋は完全に破壊された。

映画会「NAKBA(ナクバ)」(131分)

入場無料

広河隆一が40数年間にわたって記録し続けた数万枚のパレスチナ写真、千時間を超える映像から生まれた長編ドキュメンタリー。NAKBA(大惨事)! いったい何が起こったのか!

■日時: 6月26日(水) 18:30～21:00

7月15日(月・祝) 9:30～12:00

■場所: 人権平和資料館

# パレスチナ問題

## ■ パレスチナ

地中海東岸から、レバノン・シリア南部にかけての地域名。ユダヤ教の聖典「旧約聖書」では、パレスチナの地は、神が、イスラエルの民に与えた「約束の地」としての地であるとした。

1948年、この地にイスラエルが建国されると、千数百年にわたって、ここに住んでいた70万～80万人のアラブ人は、難民（いわゆるパレスチナ難民）となった。

## ■ 聖地エルサレム

紀元前13世紀頃、イスラエル王国の中心都市として栄えたユダヤ教の聖地。ユダヤ教から分かれてキリスト教が興ると、その聖地として、世界中の信者から重要視されるようになった。さらに7世紀、イスラム教が興ると、イスラム教徒もエルサレムを聖地としたため、宗教的に特別な争奪の場となった。

### ・なげきの壁

ローマ軍により破壊された、ソロモンの神殿の一部。離散したユダヤ人の統合のシンボリックな遺構。

### ・岩のドーム

イスラム教の開祖ムハンマド（マホメット）の昇天の旅の起点とされる岩があり、その上に礼拝所が建設された。黄金のドームは、パレスチナの象徴とされる。

## ■ パレスチナ自治区

パレスチナ地域のうち、ヨルダン川西岸地区と、エジプトに接するガザ地区からなる、パレスチナ人の自治区であり、1993年のオスロ合意に基づいて設立された。自治区の人口は約330万人で、これは約900万人いるとされるパレスチナ人の全人口の3分の1にあたる。しかし西岸地区では、現在でもパレスチナ自治政府の支配権が及んでいる地域は半分に満たず、残りは依然としてイスラエルの占領下にあるため、オスロ合意へのパレスチナ解放機構側（PLO）の不満は強い。

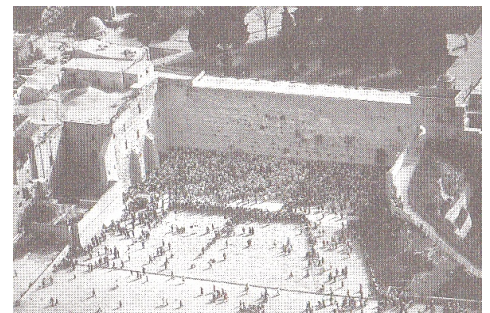
## ■ ガザ攻撃

イスラエル軍は、ガザ地区のパレスチナ武装組織ハマスが、再三にわたる警告にも関わらず、「無差別のロケット攻撃を止めない」という理由から、2008年12月27日から2009年1月18日の間、大規模な軍事行動を実施した。空爆と地上侵攻により、パレスチナ側の死者は1,383人、家屋を失い難民化した住民は、約15,000人とされている。厳しい境界線封鎖は、現在も続く。

## ■ ヨルダン川西岸

パレスチナのヨルダン川西岸地区は、**A地区**（パレスチナ自治政府が行政権、警察権を共に握る地区）、**B地区**（パレスチナ自治政府が行政権、イスラエル軍が警察権を握る地区）、**C地区**（イスラエル軍が行政権、警察権を共に握る地区）に分けられている。

イスラエルは、自国領・占領地・入植地と、パレスチナ人居住区とを分断する**分離壁**（ぶんりへき）を築き、事実上の領土拡大を進めている。



ユダヤ教の聖地「なげきの壁」